

## 2 現プランにおける数値目標の達成状況

- 評価 A：目標に達したもの  
 B：目標に達していないが目標に近づいたもの  
 C：目標から遠ざかったもの  
 D：評価が困難なもの
- 出典 数値目標①～⑥，⑧～⑨  
 「出発値」：平成 22 年度食育に関する意識調査  
 「現状値」：平成 27 年度食育に関する意識調査

### (1) みんな毎日しっかり「朝食」 ～朝の今日（きょう）食

私たち一人ひとりの健康的な生活の基本として、「みんな毎日しっかり『朝食』」の実践を目指しました。

		出発値	目標値 (27年度)	現状値	評価
①朝食をほとんど毎日食べる市民の割合	就学前児童	93.6%	100%	93.3%	C
	小学生	90.0%	100%	87.1%	C
	中学生	80.8%	100%	82.3%	B
	15 歳以上	82.2%	85%	80.9%	C
	20 歳代の男性	60.6%	70%	46.1%	C
	30 歳代の男性	63.4%	70%	59.4%	C
	20 歳代の女性	59.5%	70%	61.7%	B

#### ○主な取組

- ・ ふれあいファミリーセミナーの実施(保健センター)
- ・ 親子で朝ごはんBOOKの作成・普及(保健センター)
- ・ 親子の健康づくり講座の実施(保健センター・教育委員会)
- ・ 大学との連携による食育の推進(保健センター)
- ・ 「子どもを共に育む『親支援』プログラム」の推進(保育園・保健センター・幼稚園・学校・児童館)
- ・ 食育セミナーの実施(保健センター)
- ・ 京(みやこ)・食育だよりの発行(保健福祉局)
- ・ 保育所(園)・学校等での給食便りの発行(保健福祉局・教育委員会)
- ・ 京朝スタイルの普及(環境政策局)

### (2) みんなで食べて「楽しい食卓」 ～京の共（きょう）食

食生活をより楽しく豊かなものにすると同時に、家族や地域との絆を深めていくため、「みんなで食べて『楽しい食卓』」の実践を目指しました。

	出発値	目標値 (27年度)	現状値	評価
②食事を共にする家族や友人がいる市民の割合	78.4%	85.0%	83.0%	B

○主な取組

- ・ 食育セミナーの実施(保健センター)
- ・ 保育所(園)・幼稚園での保護者・地域への食育の推進(教育委員会・保健福祉局)
- ・ 京(みやこ)・食育だよりの発行(保健福祉局)
- ・ 保育所(園)・学校等での給食便りの発行(保健福祉局・教育委員会)
- ・ 児童館等における多世代での共食の取組の推進(保健福祉局)

(3) みんなそれぞれ「バランスの良い食事と適度な運動」～京の協(きょう)食

我が国の死亡原因の上位を占める生活習慣病の多くは、偏った食生活や運動不足等、長年の適切でない生活習慣の積み重ねの結果、引き起こされているといえます。私たち一人ひとりの健康づくり、生活習慣病の予防のため、「みんなそれぞれ『バランスのよい食事と適度な運動』」の実践を目指しました。

		出発値	目標値 (27年度)	現状値	評価	
③食育に関心を持っている市民の割合		77.2%	90%	78.1%	B	
④「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている市民の割合		26.2%	60%	27.2%	C	
⑤メタボリックシンドロームの予防・改善のために適切な食事・運動を心がけている市民の割合		66.1%	80%	73.1%	B	
⑥肥満とやせの市民の割合	肥満	40歳代の男性	29.1%	25%	32.0%	C
		50歳代の男性	27.4%	25%	36.4%	C
	やせ	20歳代の女性	20.0%	15%	20.3%	C
		30歳代の女性	20.8%	15%	19.0%	B

○主な取組

- ・ 食育指導員養成事業と活動の推進(保健福祉局・教育委員会)
- ・ 食育セミナーの実施(保健センター)
- ・ 京(みやこ)・食育だよりの発行(保健福祉局)
- ・ 保育所(園)・学校等での給食だよりの発行(保健福祉局・教育委員会)
- ・ 健康教育・健康相談の実施(保健福祉局)
- ・ ホームページでの総合的な情報発信
- ・ 京(みやこ)・食事バランスガイドの普及(保健福祉局)
- ・ 各種健診後の栄養指導の実施(保健センター)

(4) みんな知ってる・食べてる「旬の野菜、京の食材・おばんざい」～京の郷(きょう)食

私たち一人ひとりが、世代を超えて受け継がれてきた知恵を知り、実践することを通じて、環境負荷の軽減、地元産業の振興や伝統的な食文化の継承を図るため、「みんな知ってる・食べてる『旬の野菜、京の食材・おばんざい』」の実践を目指しました。

	出発値	目標値 (27年度)	現状値	評価
⑦「京の旬野菜」供給量	9,657 t	10,300 t	達成の見込みあり	A
⑧地元の農産物を日頃から購入するようにしている市民の割合	44.6%	55%	55.9%	A
⑨京の食文化（行事食やおばんざい）を認知している市民の割合	50.6%	60%	52.9%	B

○主な取組

- ・ 食の拠点機能充実事業の推進（産業観光局）
- ・ 未来の農業サポーター育成事業の実施（産業観光局）
- ・ 小学生対象の食肉講座の実施（産業観光局）
- ・ 地産地消レシピ等の紹介（産業観光局・保健福祉局・教育委員会）
- ・ フードマイレージ低減につながる京の旬野菜推奨事業の推進（産業観光局）
- ・ 産観公連携による京野菜の品種開発とレシピの紹介（産業観光局）
- ・ 食育指導員養成事業と活動の推進（保健福祉局・教育委員会）
- ・ 食育セミナーの実施(保健センター)
- ・ 京（みやこ）・食育だよりの発行（保健福祉局）
- ・ 保育所(園)・学校等での給食便りの発行（保健福祉局・教育委員会）
- ・ 地元食材・伝統食等を取り入れた給食による食育の推進（保健福祉局・教育委員会）
- ・ 小学校出前板さん教室の実施（産業観光局）
- ・ 日本料理に学ぶ食育カリキュラムモデル授業の推進(教育委員会)

(5) みんなで培う・育む「地域の食育」 ～京の響（きょう）食

京都には、歴史と伝統に根差した「市民力」や「地域力」があります。「共汗」と「融合」をキーワードに、保育所（園）、幼稚園、学校、地域ボランティアをはじめ、食に関わる人々の様々な取組が重なり合い、補いあって、すべての市民に地域に根差した食育を広げていくため、「みんなで培う・育む『地域の食育』」の実践を目指しました。

	出発値	目標値 (27年度)	現状値	評価
⑩食育指導員の養成数	56 人	300 人	達成の見込みあり	A
⑪「弁当の日」の実施校数	全市で 1 校	各行政区で 1 校程度	1 4 校	A

○主な取組

- ・ 食育指導員養成事業と活動の推進（保健福祉局・教育委員会）
- ・ 食育啓発冊子の活用と特色ある取組の推進(教育委員会)
- ・ 栽培体験や調理体験の推進（保健福祉局・教育委員会）